



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年10月10日

上場会社名 株式会社オンデック 上場取引所 東
コード番号 7360 URL <https://www.ondeck.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保良介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部マネージングディレクター (氏名) 大西宏樹 (TEL) 06-4963-2034

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無

: 有

決算説明会開催の有無

: 有

(決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の業績 (2023年12月1日~2024年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	833	68.9	26	—	26	—	18	—
2023年11月期第3四半期	493	△38.7	△223	—	△224	—	△153	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2024年11月期第3四半期	6.92	—	—	—				
2023年11月期第3四半期	△54.25	—	—	—				

(注) 1. 2023年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2024年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	1,109	883	79.6
2023年11月期	1,024	865	84.5

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 883百万円 2023年11月期 865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の業績予想 (2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,642	98.6	235	—	235	—	165	—	63.21	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期3Q	2,863,500株	2023年11月期	2,863,500株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	249,965株	2023年11月期	249,927株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期3Q	2,613,544株	2023年11月期3Q	2,831,477株

- ※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会について）

当社は、決算説明動画（録画形式）を当社ウェブサイト（<https://www.ondeck.jp/ir>）にて公開を行う予定です。2024年11月期第3四半期の決算説明動画（録画形式）は2024年10月25日（金）15時に公開を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や個人消費の持ち直しなどを背景に日経平均が最高値を更新するなど堅調な動きが見られる一方で、円安や物価の上昇などもあり、先行き不透明なリスクもみられる状況が続いております。

当社が営むM&Aアドバイザー事業は、中小企業・小規模事業者の経営者の高齢化を背景とした後継者問題の深刻化や業界再編の手法としてのM&Aが有力な選択肢として認知が進んでいることで、M&Aのニーズは高まっており、引き続き市場は堅調に拡大していくものと考えております。一方、市場の拡大に伴い、市場に対してモラルや品質の向上を求める声が高まっております。中小企業庁による「中小M&Aガイドライン」の改訂や自主規制団体である「一般社団法人M&A仲介協会」の設立や自主規制ルールの公表など、官民が相互に連携した取組を推進することで、健全に市場が発展していくものと考えております。

このような事業環境下で、当社は公的機関や金融機関、各種専門家等の多様な業務提携先とのネットワークの更なる拡大、強化を図るとともに、これらの業務提携先と連携してセミナーなどを実施することでM&Aニーズの取り込みに努めるなど、営業活動を積極的に進めております。

当社の当第3四半期累計期間における成約件数は20件（前期16件）と増加したことに加えて、複数の大型案件の成約により平均報酬単価が上昇したことで、売上高は833,729千円（前期比68.9%増）となりました。売上の増加を受けて営業利益は26,089千円（前期は223,862千円の営業損失）、経常利益は26,546千円（前期は224,194千円の経常損失）、四半期純利益は18,081千円（前期は153,619千円の四半期純損失）となっております。また、新規受託件数は48件（前期は77件）となりました。

なお、当社は、M&Aアドバイザー事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社の当第3四半期会計期間末の財政状態の状況は次のとおりです。

（資産の部）

流動資産は、前事業年度末と比較して18,024千円減少し、781,240千円となりました。これは、主として現金及び預金が196,070千円増加した一方で、売掛金が116,291千円減少したことや法人税等や消費税等の還付を受けたためその他流動資産が97,802千円減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末と比較して102,911千円増加し、327,995千円となりました。これは、主として投資有価証券の購入により投資その他の資産が108,780千円増加したことによります。

この結果、当第3四半期会計期間末の総資産は前事業年度末と比較して84,887千円増加し、1,109,236千円となりました。

（負債の部）

流動負債は、前事業年度末と比較して27,581千円増加し、164,445千円となりました。これは、主として未払金が69,934千円減少した一方で、未払費用が16,327千円増加したことや未払法人税等が14,299千円増加したこと、未払消費税等の増加によりその他流動負債が44,015千円増加したことによります。

固定負債は、前事業年度末と比較して39,259千円増加し、61,602千円となりました。これは、主として長期借入金が39,171千円増加したことによります。

この結果、当第3四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比較して66,841千円増加し、226,047千円となりました。

（純資産の部）

純資産は、前事業年度末と比較して18,045千円増加し、883,188千円となりました。これは、主として利益剰余金が四半期純利益の計上により18,081千円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月12日に発表いたしました2024年11月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	520,787	716,857
売掛金	141,701	25,410
その他	136,776	38,973
流動資産合計	799,264	781,240
固定資産		
有形固定資産	59,922	54,224
無形固定資産	385	215
投資その他の資産		
投資有価証券	—	112,725
その他	164,775	160,830
投資その他の資産合計	164,775	273,555
固定資産合計	225,083	327,995
資産合計	1,024,348	1,109,236
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	—	9,996
未払金	93,962	24,027
未払費用	30,100	46,427
未払法人税等	2,046	16,345
賞与引当金	5,800	18,678
その他	4,955	48,970
流動負債合計	136,863	164,445
固定負債		
長期借入金	—	39,171
資産除去債務	22,342	22,431
固定負債合計	22,342	61,602
負債合計	159,206	226,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,722	372,722
資本剰余金	280,722	280,722
利益剰余金	465,169	483,250
自己株式	△253,471	△253,507
株主資本合計	865,142	883,188
純資産合計	865,142	883,188
負債純資産合計	1,024,348	1,109,236

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	493,634	833,729
売上原価	354,625	412,319
売上総利益	139,009	421,410
販売費及び一般管理費	362,872	395,321
営業利益又は営業損失(△)	△223,862	26,089
営業外収益		
受取利息	100	80
還付加算金	—	386
その他	13	—
営業外収益合計	113	466
営業外費用		
支払利息	13	9
自己株式取得費用	432	0
営業外費用合計	445	10
経常利益又は経常損失(△)	△224,194	26,546
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△224,194	26,546
法人税等	△70,574	8,464
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△153,619	18,081

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社はM&Aアドバイザー事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	12,381千円	6,269千円